

Part 2；各病態および特殊背景因子をもつ患者への影響

Part1 において、新型コロナウイルス感染症の蔓延が本府の救急医療体制に与えた影響について報告した。Part2 においては、緊急性の高い病態として、病院外心停止、心・脳血管疾患、消化器疾患、自損、外傷について検討する。また特殊な背景因子として小児、妊婦、高齢者について、そして、新型コロナウイルス感染症に類似する症状を有する疾患および患者についてもデータを解析し、新型コロナウイルス感染症の蔓延による救急医療体制への影響に関して検討を行った。

Category (2) 緊急性の高い病態の患者に与えた影響

CQ3-1：Out of Hospital Cardiac Arrest（病院外心停止：全般）

【方法】

2019年、2021年のそれぞれ1月1日から12月31日までのクリーニングデータから、院外心停止傷病者数について比較を行った。本項では転院症例も含んでいる。比較対象としてはCOVID-19流行前の2019年を基準とし、IRR（incidence rate ratio）及び95%信頼区間を算出した。なお、年齢階層別の解析では小児（0-14歳）、成人（15-64歳）、高齢者（65歳以上）に分類した。

【結果】

院外心停止傷病者数は2019年では7,611例であり、2021年では8,186例（IRR：1.08，95%信頼区間：1.04-1.11）と増加した（図表49）。

（図表49）院外心停止傷病者数（月別）

院外心停止	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年傷病者数	986	711	679	612	564	504	509	476	533	565	673	799	7,611
2019年における割合(%)	12.95	9.34	8.92	8.04	7.41	6.62	6.69	6.25	7.00	7.42	8.84	10.50	100
2021年傷病者数	962	750	673	657	671	507	580	630	531	625	711	889	8,186
2021年における割合(%)	11.75	9.16	8.22	8.03	8.20	6.19	7.09	7.70	6.49	7.63	8.69	10.86	100

カテゴリー別の院外心停止傷病者数を示す（図表50）。2019年に比し、2021年では小児および成人で変化を認めなかったが、高齢者において増加した。2021年において5月（IRR：1.26，95%信頼区間：1.11-1.43）、8月（IRR：1.36，95%信頼区間：1.18-1.56）、10月（IRR：1.16，95%信頼区間：1.02-1.33）では増加していた。

（図表50）院外心停止傷病者数（カテゴリー別）

来院時心停止(転院を含む、年齢別)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年 0-14歳全搬送傷病者数	11	5	5	6	8	5	8	9	7	8	6	5	83
2021年 0-14歳全搬送傷病者数	7	5	6	6	5	2	7	6	4	4	4	8	64
IRR (2021年vs2019年) (95% CI)	0.64 (0.21-1.80)	1.00 (0.23-4.35)	1.20 (0.31-4.97)	1.00 (0.27-3.74)	0.63 (0.16-2.17)	0.40 (0.04-2.44)	0.88 (0.27-2.76)	0.67 (0.20-2.10)	0.57 (0.12-2.25)	0.50 (0.11-1.87)	0.67 (0.14-2.81)	1.60 (0.46-6.22)	0.77 (0.55-1.08)
2019年 15-64歳全搬送傷病者数	167	121	117	113	121	130	111	101	107	132	117	139	1,476
2021年 15-64歳全搬送傷病者数	176	125	125	110	118	96	134	127	95	126	127	173	1,532
IRR (2021年vs2019年) (95% CI)	1.05 (0.85-1.31)	1.03 (0.80-1.34)	1.07 (0.82-1.39)	0.97 (0.74-1.28)	0.98 (0.75-1.27)	0.74 (0.56-0.97)	1.21 (0.93-1.57)	1.26 (0.96-1.65)	0.89 (0.67-1.18)	0.95 (0.74-1.23)	1.09 (0.84-1.41)	1.24 (0.99-1.57)	1.04 (0.97-1.12)
2019年 65-歳全搬送傷病者数	808	585	557	493	435	369	390	366	419	425	550	655	6,052
2021年 65-歳全搬送傷病者数	779	620	542	541	548	409	439	497	432	495	580	708	6,590
IRR (2021年vs2019年) (95% CI)	0.96 (0.87-1.07)	1.06 (0.95-1.19)	0.97 (0.86-1.10)	1.10 (0.97-1.24)	1.26 (1.11-1.43)	1.11 (0.96-1.28)	1.13 (0.98-1.29)	1.36 (1.18-1.56)	1.03 (0.90-1.18)	1.16 (1.02-1.33)	1.05 (0.94-1.19)	1.08 (0.97-1.20)	1.09 (1.05-1.13)

次に院外心停止における搬送困難事例を示す。2019年の院外心停止における搬送困難傷病者の割合は0.7%であったが、2021年は2.08%に増加した（図表51）。2019年に対する2021年のIRRは3.02（95%信頼区間：2.21-4.20）であった。

（図表51）院外心停止傷病者数（搬送困難事案）

2019年：院外心停止	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
搬送困難傷病者数	12	5	5	3	7	4	2	2	2	2	4	5	53
搬送された傷病者数	986	711	679	612	564	504	509	476	533	565	673	799	7,611
2021年：院外心停止	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
搬送困難傷病者数	19	17	13	31	20	9	10	15	11	10	8	7	170
搬送された傷病者数	962	750	673	657	671	507	580	630	531	625	711	889	8,186
院外心停止の搬送困難割合%	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年：院外心停止	1.22	0.70	0.74	0.49	1.24	0.79	0.39	0.42	0.38	0.35	0.59	0.63	0.70
2021年：院外心停止	1.98	2.27	1.93	4.72	2.98	1.78	1.72	2.38	2.07	1.60	1.13	0.79	2.08
OR (2021年vs2019年) (95% CI)	1.64 (0.75-3.72)	3.27 (1.15-11.41)	2.66 (0.88-9.56)	10.05 (3.11-51.58)	2.44 (0.98-6.89)	2.26 (0.63-10.10)	4.45 (0.94-41.88)	5.78 (1.33-52.27)	5.62 (1.22-52.31)	4.58 (0.97-43.09)	1.90 (0.51-8.67)	1.26 (0.34-5.06)	3.02 (2.21-4.20)

【小括（CQ3-1）】

2019年と比較して2021年では院外心停止傷病者数は増加しており、搬送困難となった傷病者の割合も増加した。